



岩江中だより

第 28 号

発行日：平成29年 1月13日
発行：三春町立岩江中学校
電話：0247-62-8290
FAX：0247-62-8380
E-mail:iwae-j@fcs.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに、たくましく』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【県教育長様より表彰状をいただきました！～岩江中生徒のがんばりまた一つ。～】

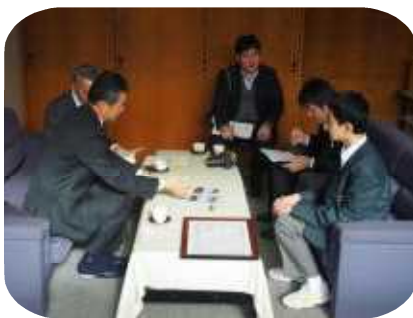
1月11日（水）に、『ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業』の賞状等を授与するため、県中教育事務所の所長さんと社会教育主事のお二人が来校され、1年生の佐久間君を前に賞状を読み上げた後、直接、手渡していただきました。

この事業は15年目を迎え、作品を読ませていただくと、これまでの『絆部門』に、新たに、『復興部門』が開設され、親や身近な人たちと子どもたちとの思いが綴られている他、ふくしまへの思いや震災体験を乗り越えてきた思いがそこには綴られていました。

本校の1年生佐久間君は、その『復興部門』の第2位『優秀賞』を受賞しました。県の出品総数41、502点の中から最優秀賞・優秀賞合わせて『絆部門』10点、『復興部門』10点、その『復興部門』10点の中の一人に選ばれました。10人の中で県中地区の入賞は佐久間君ともう1人だけでした。県中教育事務所の所長さんが直々に入賞者を所属学校に訪問して賞状を手渡しして下さるのもうなずけます。作品を掲載いたしますのでお味わいください。佐久間君、お母さん、本当におめでとうございます。

『故郷を じいちゃんの絵で 思いだす』 佐久間君

『故郷は 父が遺した 絵の中に』 お母さん



【まとめの学期、第3学期！ ～子どもたちや先生方にこんなお話をしました。～】

1月10日（火）から始まった第3学期。始業式では校長から以下のようなお話をさせていただきました。その一部を掲載いたしますので、保護者のみなさまにおかれましては、ご一読いただき、ご理解・ご協力をたまわれれば幸いです。本年もどうぞよろしく願いいたします。

新年明けましておめでとうございます。今年も先生方はみなさんと一緒に、みなさんのもつすばらしい力を最大限に発揮してもらえるよう全力で取り組んでまいりますのでどうぞよろしく願いいたします。

私たちの生活の中にはさまざまな「チャンス」と「ピンチ」が待ち受けています。時間が過ぎるのをただ手をこまねいて見ているだけでは、たくさんある「チャンス」を見逃してしまうことになりかねません。

「変わろうと思った時がチャンスである。」。新しい自分を探しに歩み出そうと思ったときが一步成長した自分になれる「チャンス」なのだと思います。ぜひ挑戦してみてください。そのために先生方はあらゆる力をみなさんに注いでいきます。

ただ、それには「力」がいます。「**自分自身をしっかりと見つめる力**」と「**それについて考え、人と確かめ合い、どうあるべきかを判断する力**」、そして、「**行動する力**」の3つです。冬休み、3つの「力」をもち、部活動や家の手伝いをきちんとこなしながら、自分の立てた計画に従い、こつこつと努力を積み重ねた成果が今日の提出物につながってきたのです。よくがんばりました。

2学期末、とてもうれしいことがありました。全校集会での、「いじめ・仲間はずれ・差別・偏見防止」のみなさんからの発表です。先生方に、「今の岩江中の子どもたちはすばらしい力を

もっている子どもたちばかりです。ぜひ、そのすばらしい力を発揮する時間と場をつくってあげてください。」「すべての人が安心・安全な中で、より充実した学校生活を送れるよう、自分たちで考え、話し合い、約束し合って、「いじめや仲間はずれ、差別や偏見のない岩江中づくりについて考えさせてください。」と伝えました。その後の全校集会での発表は実に見事でした。当日ばかりでなくそこに至るまでの取り組みをとおり、子どもたちは、自分たちを見つめ、よさと課題について話し合い、自分たちのめざす学級・学年像について明確な姿を発表していました。

本校の教育目標「自立」は、この3つの「力」が一人ひとりの心の中にはっきりと自覚され、身についた姿だと思います。「自立」と自分勝手は全く違うということをもう一度確認します。横断歩道の「あいさつ」がすばらしいのは、自分で判断して「大切なこと」と思ったことを実行する「力」がすばらしいのです。トイレのスリッパを整えられることがすばらしいのは、次に使う人を思いやり、人のためにも行動することができる「力」がすばらしいのです。人を傷つける言葉を発しない人がすばらしいのは、命のかけがえなさを自覚し、命を大切に作る「力」があり、それに基づき自分をコントロールする「力」が備わっていることがすばらしいのです。いじめや仲間はずれをせず、差別や偏見をもたないことがすばらしいのは、自分もかけがえのない命の持ち主であるという自覚をもち、一人では生きられない自分というものを理解し、人の体の中に流れる温かな血潮のかけがえのなさを常に心に行動できることがすばらしいのです。どれも、それぞれの「私にはこれがある」です。「信念」をもち、たくさんの人たちの中で、自分も他の人も生き生きと生活できる社会をつくっていかうではありませんか。

明後日、道徳学習のまとめとして、郡山女子短大の折笠先生においでいただき、自尊感情「私にはこれがある」をもつことのすばらしさや大切さについてのご講演をいただきます。「自尊感情」とはどのようなものか、「自尊感情」をもつとどんないいことがあるのか、「自尊感情」をもつためには何をどうすればいいのかなどについてしっかり考えてみましょう。道徳は、人が人として、よりよく生きていくためにとても大切な学習です。今後も、本音で語り合い、学び合い、「わかってもできない自分に気づき、それが人というものであるという自覚をもち、道徳的な価値に基づき、信念をもって行動できる人になっていってください。

それにはたくさんの「がんばり」が必要です。がんばりすぎれば疲れます。そんなときには、「疲れた。」「助けて。」ときちんと伝えてください。みなさんの友達は、そして、先生方は必ず答えてくれます。みなさんと「共に」悩み、助けてくれます。よりよい道を「共に」見つけてくれます。みなさんはたくさんの友達や先生方としっかりつながっています。

第3学期の始業式にあたり、これからの岩江中での生活が平成28年度のまとめの場となり、みなさん一人ひとりに、3つの「力」（「自分自身をしっかり見つめる力」「考え、人と確かめ合い、どうあるべきかを判断する力」「行動する力」）が身にき、「私にはこれがある」というものを胸いっぱい、「今日もがんばった。」「人って温かいな。」「岩江中は私たちの誇りだ。」とみんなが言えるよう、輝かしい未来にむかって、たくましく、したたかに羽ばたいていってほしいと心より願います。

【みんなのため、自分のために！ ～雪かきの中に元気な声が響きます。～】

前日からの雪が積雪となり、13日の朝は一面の銀世界となりました。雪かきを楽しみに、いつもより15分早く出勤すると、地域や保護者の方が歩道を除雪し、融雪剤をまいていてくれました。駐車場には白の外車と緑の四駆の他、用務員さんも除雪のために早朝出勤してくださっていました。その後、次第に先生方や子どもたちが集まり、白かった地面からすっかり雪がなくなりました。登校してくる友達のため、自分たちの力を合わせ、安心・安全な環境づくりのために雪かきは必要だという思いで協力して活動する姿をとってもほほえましく眺めながら黄色い旗振りも怠りませんでしたよ。

